

公益社団法人 日本補綴歯科学会 第2回補綴歯科臨床研鑽会  
「プロソ '16」  
大会長挨拶

第2回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ '16」大会長  
公益社団法人 日本補綴歯科学会専門医制度委員会委員長  
鱒 見 進 一

2016年12月10日（土）、11日（日）の2日間にわたり、公益社団法人日本補綴歯科学会第2回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ '16」がベルサール新宿セントラルパークにおいて開催されます。本会は2年前に「プロソ '14」として日本補綴歯科学会が初めて開催した補綴歯科臨床研鑽会の第2弾であり、専門医制度委員会委員長として大会長を務めさせていただくことは身に余る光栄であります。

未曾有の超高齢社会に突入した我が国の医療現場では、多職種協働が唱われています。このような状況で我々補綴歯科医に望まれることは種々の補綴的手法を用いて口腔機能の回復に務めることです。昨今、医科歯科領域では専門医制度の在り方について様々な議論が繰り広げられておりますが、補綴歯科専門医について前大会長の水口俊介教授は、「より複雑で困難な歯科補綴処置に対応できる一般歯科医より上位のスキルを有し、これを取得し維持するために不断の努力を行い、一般歯科医に対してその知識とスキルを提供すべきである」と述べております。私もまったく同感であります。このような考えから、補綴歯科臨床研鑽会では、補綴歯科専門医ならびにこれからその取得を目指す会員に対し、より質の高い治療を達成するための理論と技術を提示し、徹底的に議論することを目的としています。

今回のテーマは「補綴装置による機能回復を目指して」とし、パーシャルデンチャー、オーバーデンチャー、コンプリートデンチャー、特殊補綴装置の4つのカテゴリーに分けてシンポジウムを行います。各シンポジストとしては、前途有望な中堅や若手の方々に依頼し、参加者の方々と熱い議論ができればと考えております。

最後に、本会の企画に賛同して戴きました公益社団法人日本補綴歯科学会松村理事長ならびに理事の先生方に御礼申し上げます。また、多大な貢献をしていただきました専門医制度委員会委員各位ならびに教室員の方々に衷心より感謝申し上げます。